

- 2 川口市の放射性物質対策
- 4 ライフスタイルパトロール活動に参加してみませんか
- 5 交通・学童等災害共済の加入受付開始
- 6 市民税・県民税の申告はお早めに
- 8 川口市次世代育成支援行動計画の22年度実績を公表します



川口市立文化財センター
日光御成道川口宿
川口市立文化財センター
日光御成道川口宿

日光御成道と川口宿

日光御成道は、徳川将軍または代季の日光への往還社参の道で、中世以来の鎌倉街道のひとつとも考えられています。その通筋は江戸本郷通分で中山道と分かれ、若槻(現北区)ー川口ー鳩ヶ谷ー大門(現さいたま市)ー岩槻の五宿を経て、幸手宿で日光街道と合流するおよそ12重(約48km)です。

川口宿が、日光御成道の宿駅となったのは、寛永期から元禄期であろうと思われます。川口宿はひとつのまちでしたが、宿駅としては荒川を挟んだ対岸の岩槻宿と合宿でした。またこの道は、善光寺の御開帳の日などは、多くの参詣者でにぎわいました。



よこす川口

⑮文化財センター

発掘調査の出土品や鋳物業に関する資料、蛇造りなどの民俗行事や歴史的建造物など数多くの文化財を収集・保管しています。展示や体験学習などを通して、日光御成道川口宿をはじめ川口の歴史と文化への理解を深めることのできる施設です。時空を超え、川口の記憶をたどる旅をしてみてください。きっと、新しい発見と驚きが待っています。